

株式会社 **山善**

**2023年3月期**  
**(第3四半期)**

**決算補足資料**



# AGENDA

**I. 2023年3月期（第3四半期）決算概要**

**II. 2023年3月期（通期）業績見通し、中期経営計画**

**III. 株主還元**

# AGENDA

**I. 2023年3月期（第3四半期）決算概要**

II. 2023年3月期（通期）業績見通し、中期経営計画

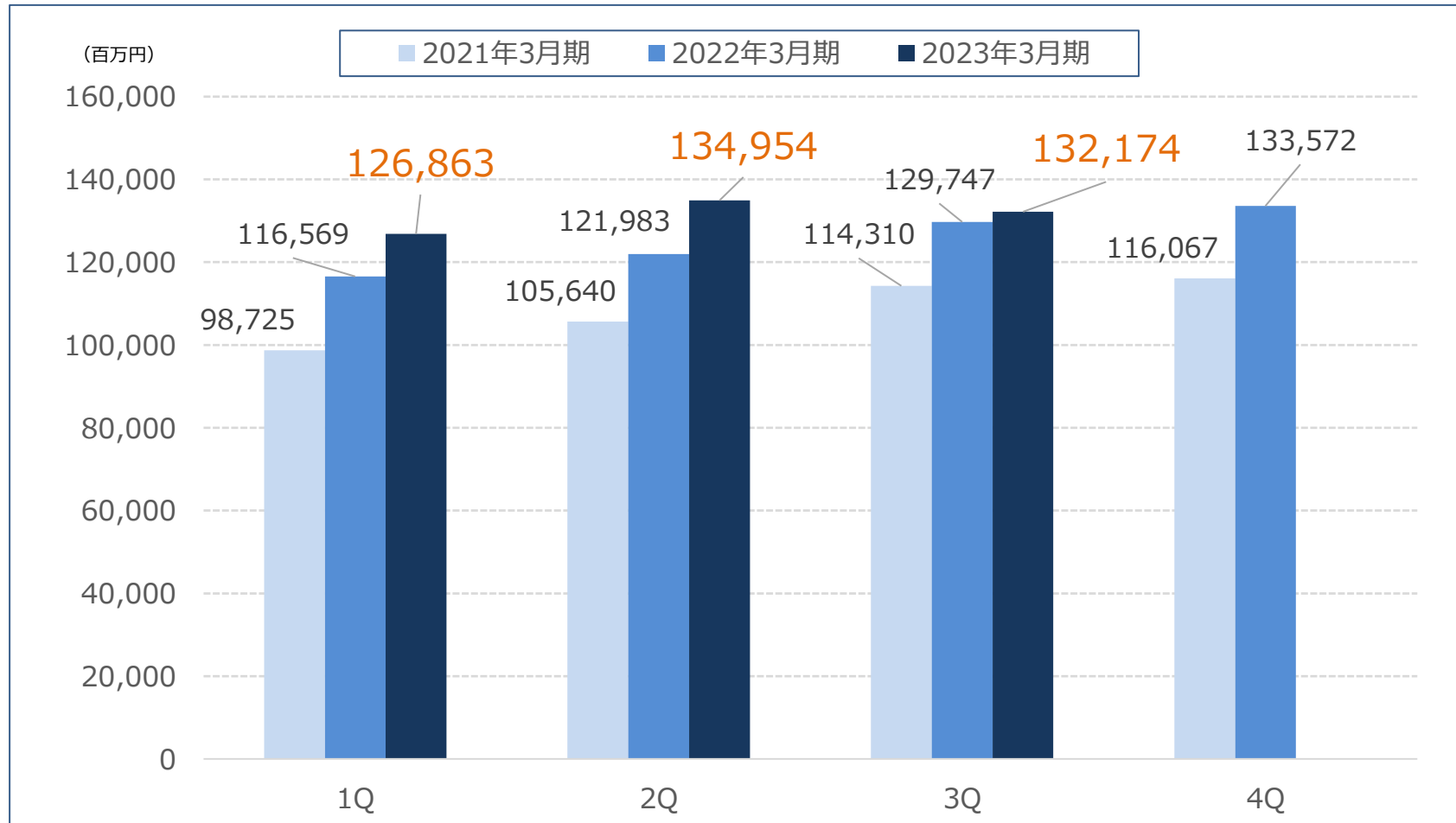
III. 株主還元

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)	2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)	前年対比 増減率	通期計画	進捗率
売上高	<b>368,300</b>	<b>393,991</b>	7.0%	530,000	74.3%
売上総利益	53,893	58,201	8.0%	-	-
(総利益率)	(14.6%)	(14.8%)	(0.1)	-	-
販売管理費	41,596	46,063	10.7%	-	-
営業利益	<b>12,297</b>	<b>12,138</b>	△1.3%	16,000	75.9%
(営業利益率)	(3.3%)	(3.1%)	(△0.3)	(3.0%)	(+0.1)
営業外損益	△12	719	-	-	-
経常利益	<b>12,284</b>	<b>12,857</b>	4.7%	16,000	80.4%
特別損益	753	45	△94.0%	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<b>8,846</b>	<b>8,641</b>	△2.3%	11,000	78.6%

売上高が伸長し、売上総利益率も向上したことで売上総利益は前年同期比+8.0%の増益となりましたが、中期経営計画で掲げる成長投資としてのSAP導入に伴う減価償却費等の増加と、人的資本への投資としての人件費の増加により、営業利益は前年同期比△1.3%の減益となりました。

## 売上高 四半期比較（過去3年）



## 事業別売上高

(単位：百万円)	2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)	前年対比 増減率
機 械 事 業 部	99,443	107,405	8.0%
機 工 事 業 部	136,766	151,537	10.8%
(生産財関連計)	236,209	258,943	9.6%
住 建 事 業 部	45,457	50,612	11.3%
家 庭 機 器 事 業 部	83,755	80,363	△4.0%
(消費財関連計)	129,212	130,976	1.4%
そ の 他 部 門	2,877	4,071	41.5%
合 計	368,300	393,991	7.0%

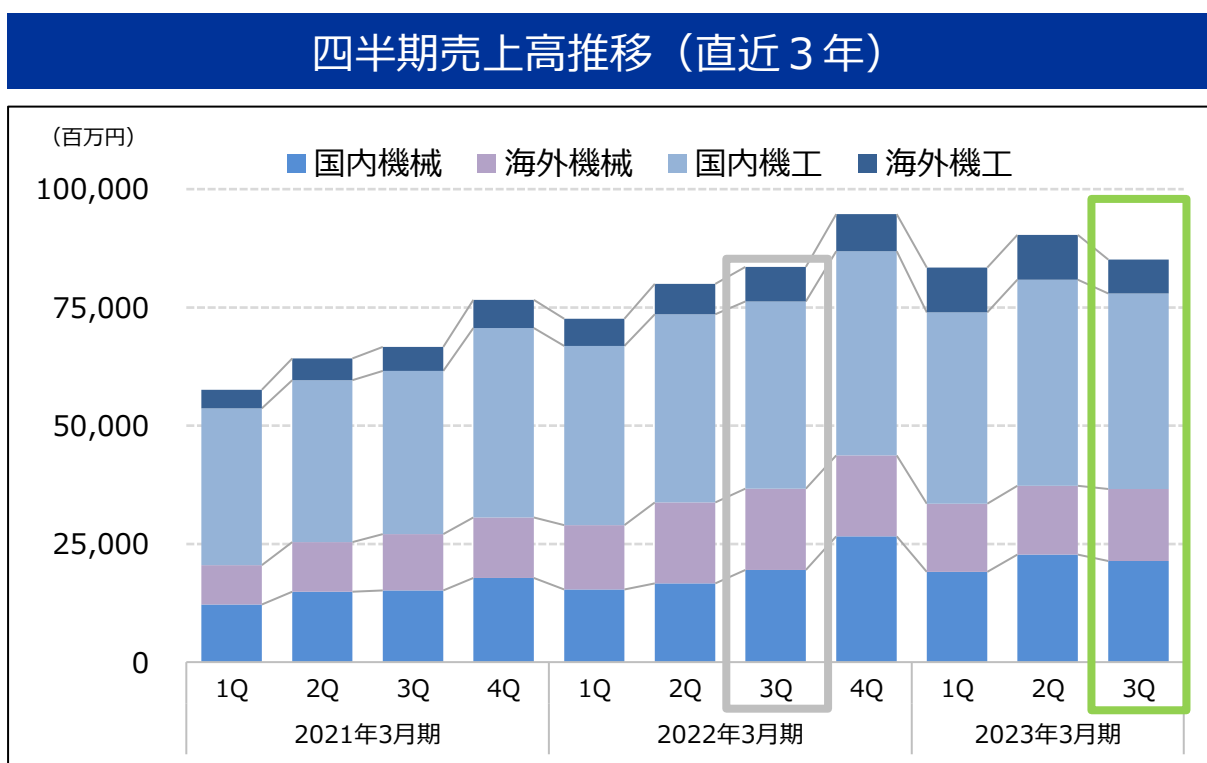
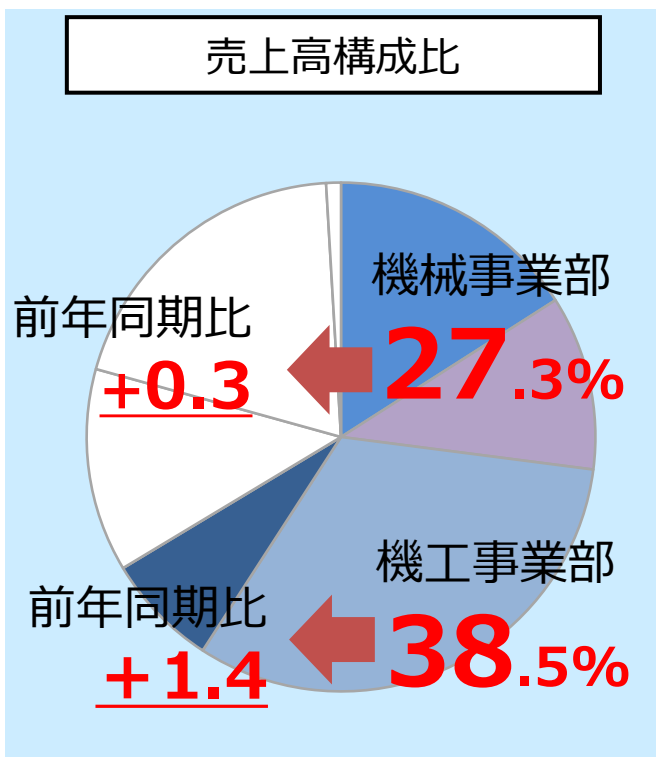
※当社は、当社グループの業績管理区分の見直しに伴い、従来「その他」に区分しておりました大垣機工株式会社を、2023年3月期第1四半期連結会計期間より「生産財関連事業」に含めております。  
 なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

- ・国内機械事業：半導体製造装置向けの工作機械への設備投資需要鈍化したものの、裾野の広い自動車産業で、脱炭素化等に向けた設備投資が底堅く推移。
- ・国内機工事業：測定機器や補要工具、切削工具等が堅調に推移し、生産・物流現場等の空調設備機器やマテハン機器も好調。「脱炭素」をテーマにした商談会を各地で実施。
- ・海外生産財事業：北米支社では医療・航空・EV等向けの設備投資が堅調、切削・補要工具も底堅く推移。中国支社ではEV・半導体・医療等向け工作機械が堅調で、アセアン支社では自動車・航空・空調設備分野が好調。台湾支社ではEMS企業への販売が減少。

(単位：百万円)			2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)	前年対比 増減率
生	機 械 事 業 部	国 内 売 上 高	51,599	63,205	22.5%
		海 外 売 上 高	47,843	44,200	△7.6%
		機 械 合 計	99,443	107,405	8.0%
産	機 工 事 業 部	国 内 売 上 高	117,206	125,424	7.0%
		海 外 売 上 高	19,559	26,113	33.5%
		機 工 合 計	136,766	151,537	10.8%
財	生 産 財 関 連 合 計	売 上 高	236,209	258,943	9.6%
		営 業 利 益	9,075	9,657	6.4%
		営 業 利 益 率	3.8%	3.7%	(△0.1)

※当社は、当社グループの業績管理区分の見直しに伴い、従来「その他」に区分しておりました大垣機工株式会社を、2023年3月期第1四半期連結会計期間より「生産財関連事業」に含めております。  
 なお、前第3四半期連結累計期間の事業別業績は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(単位：百万円)			2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)		
生産財	生産財合計	売上高	236,209	<b>258,943</b>	前年対比増減率	<b>9.6%</b>
		営業利益	9,075	9,657	営業利益率	3.7%



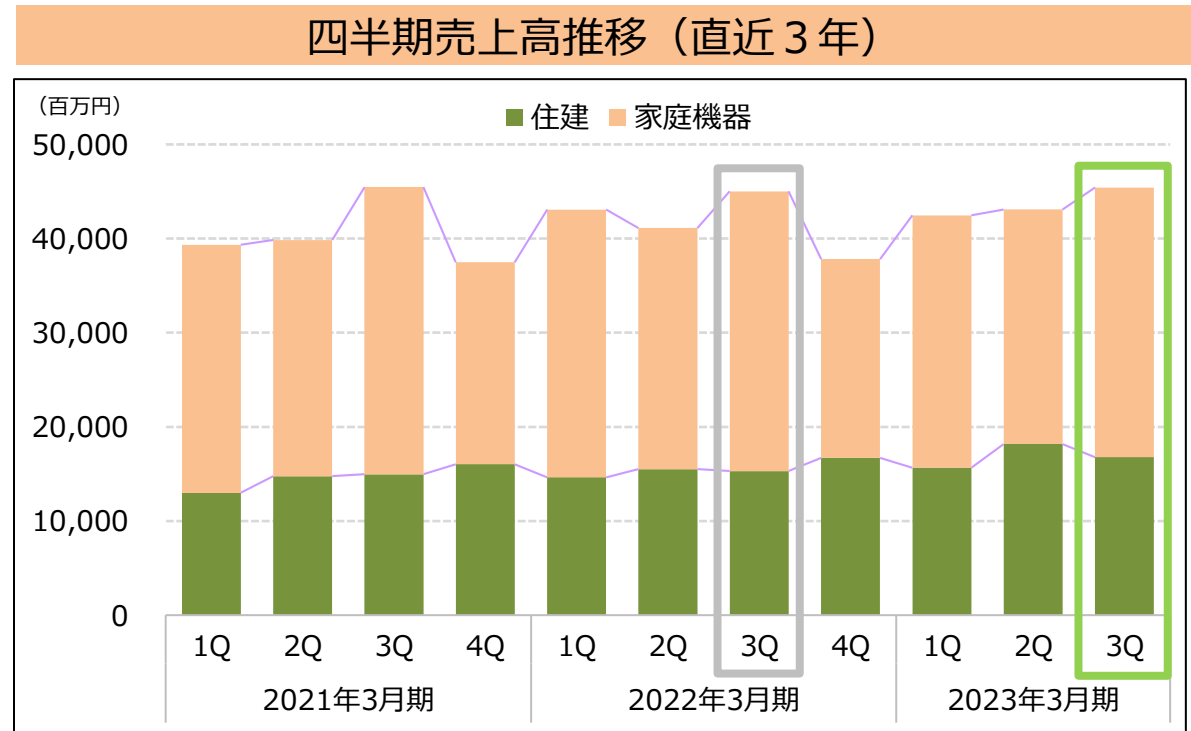
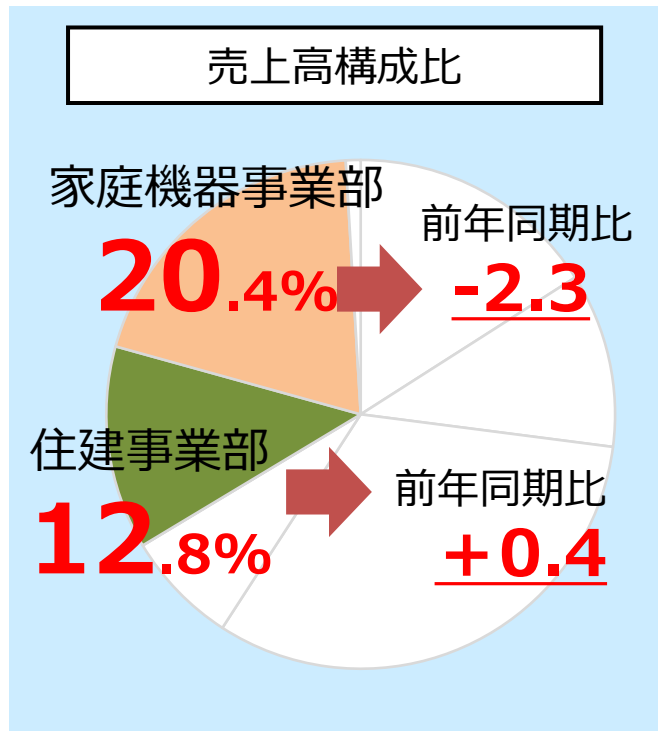
※当社は、当社グループの業績管理区分の見直しに伴い、従来「その他」に区分しておりました大垣機工株式会社を、2023年3月期第1四半期連結会計期間より「生産財関連事業」に含めております。  
 なお、前第3四半期連結累計期間の事業別業績は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。



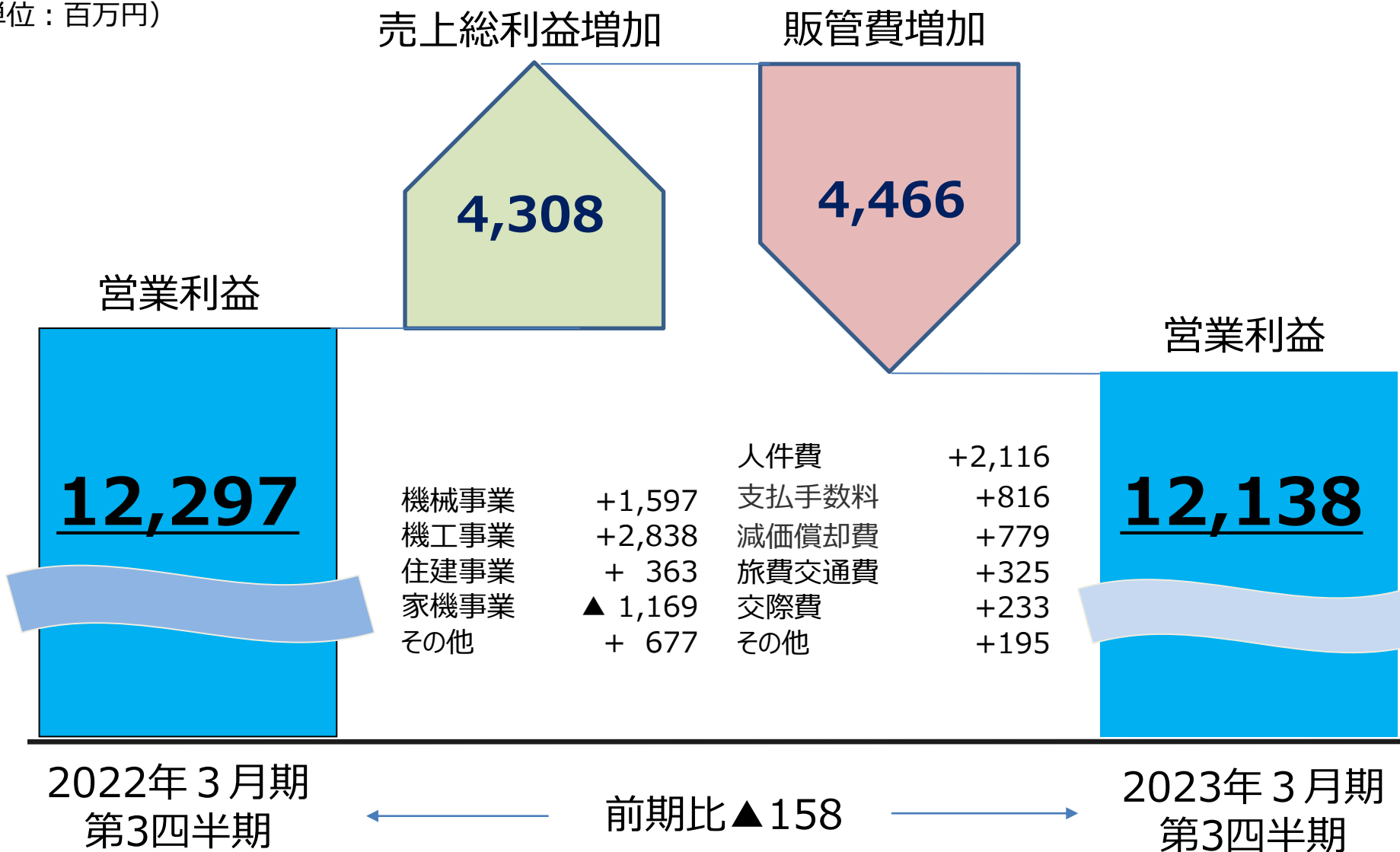
- ・住建事業** : 堅調なりフォーム需要を背景に、高付加価値商材の提案に注力し、給湯・水廻り機器等の販売が堅調に推移。非住宅分野は光熱費高騰による企業のコスト対策の需要に対し、商材+施工の設備改修提案を強化し、新エネルギー機器や高効率空調機器等が好調。
- ・家庭機器事業** : 消費者ニーズを捉えたプライベートブランド商品を強化し、調理家電や比較的消費電力の低い暖房家電 (こたつ・電気毛布等) の販売が好調に推移したものの、コロナによる「巣ごもり」需要が一巡し、原材料や電気・ガス価格の高騰、急激な円安による値上げ等の影響で消費者の購買意欲が低下したこと等により、前年同期比で減収減益。

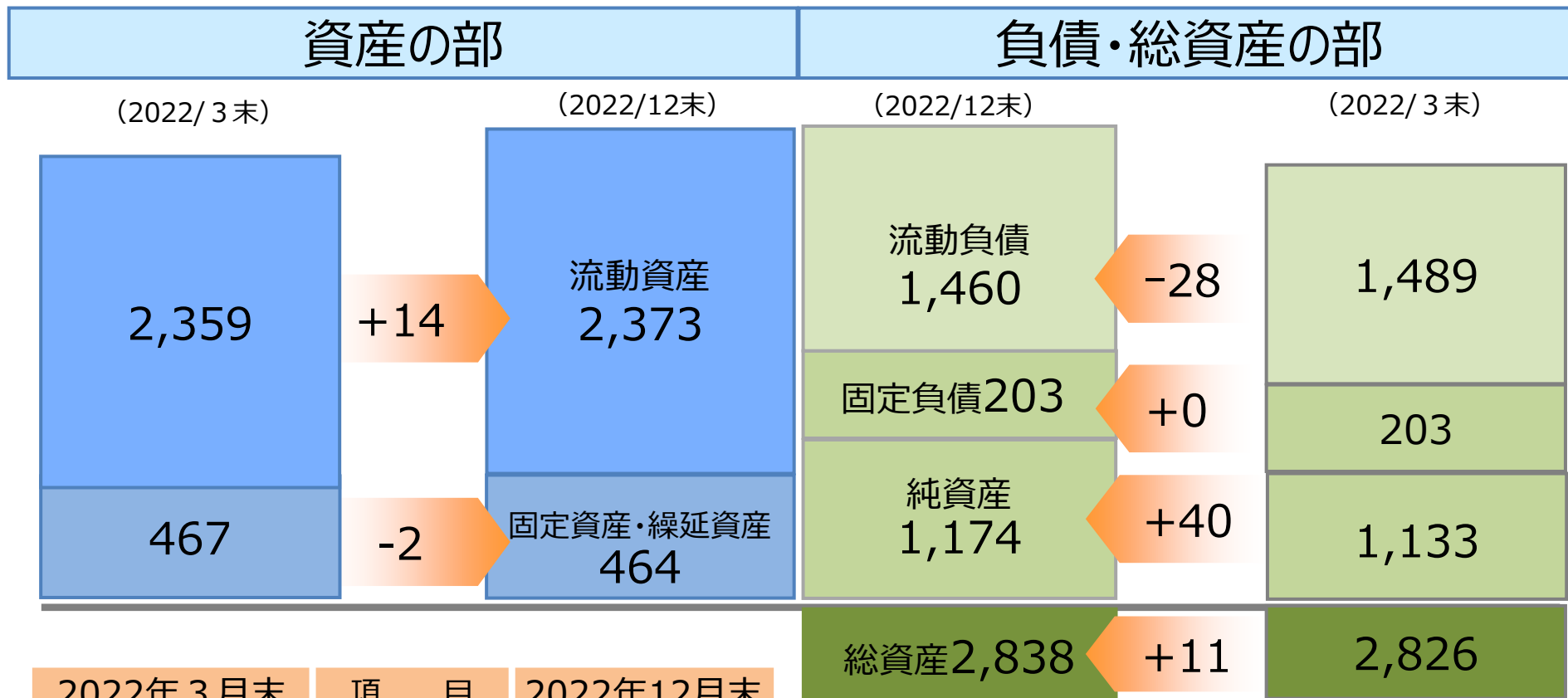
(単位: 百万円)			2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)	前年対比 増減率
消 費 財	住 建 事 業 部	売 上 高	45,457	50,612	11.3%
		営 業 利 益	1,386	1,518	9.5%
		営 業 利 益 率	3.1%	3.0%	(△0.1)
	家 庭 機 器 部	売 上 高	83,755	80,363	△4.0%
		営 業 利 益	5,110	4,140	△19.0%
		営 業 利 益 率	6.1%	5.2%	(△0.9)
消 費 財 関 連 合 計	売 上 高	129,212	130,976	1.4%	
	営 業 利 益	6,497	5,659	△12.9%	
	営 業 利 益 率	5.0%	4.3%	(△0.7)	

(単位：百万円)			2022年3月期 (第3四半期)	2023年3月期 (第3四半期)		
消費財	住建事業	売上高	45,457	<b>50,612</b>	前年対比 増減率	11.3%
		営業利益	1,386	<b>1,518</b>	営業利益率	3.0%
	家庭機器事業	売上高	83,755	<b>80,363</b>	前年対比 増減率	△4.0%
		営業利益	5,110	<b>4,140</b>	営業利益率	5.2%



(単位：百万円)





2022年3月末	項目	2022年12月末
10.9%	ROE	7.5%
39.9%	自己資本比率	41.1%
1,268.98円	1株純資産	1,312.81円
838億円	時価総額	891億円
120億円	基礎的営業キャッシュ・フロー	98億円

(単位：億円)

- ※ ROE、自己資本比率、1株純資産は、決算短信（サマリー）情報より
- ※ 時価総額は、決算日の終値に同日発行済株式数（自己株式を含む）を乗じて算定
- ※ 基礎的営業キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローから運転資本増減額を控除して算定
- ※ 億円未満を切り捨て

# AGENDA

I. 2023年3月期（第3四半期）決算概要

**II. 2023年3月期（通期）業績見通し、中期経営計画**

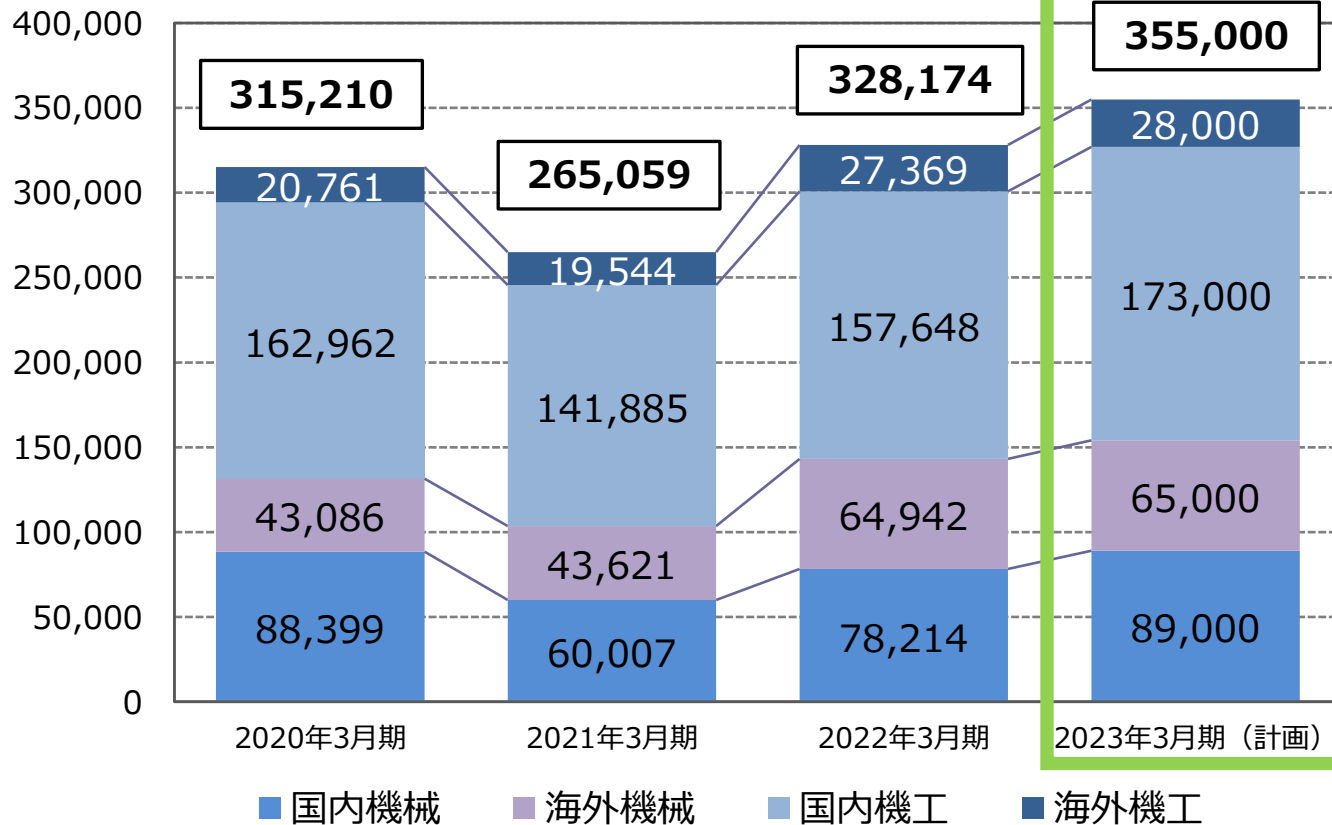
III. 株主還元

(単位：百万円)	2022年3月期 第76期実績	2023年3月期 第77期計画	前年対比 増減率
売上高	501,872	<b>530,000</b>	5.6%
営業利益	17,133	<b>16,000</b>	△6.6%
営業利益率	3.4%	<b>3.0%</b>	(△0.4)
経常利益	17,094	<b>16,000</b>	△6.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,024	<b>11,000</b>	△8.5%

**売上高は伸長。成長投資の加速による減価償却を見込むため、減益の計画**

(単位：百万円)		売上高	前年対比 増減率	営業利益	前年対比 増減率	営業利益率
生産財事業合計	通期	355,000	8.2%	14,000	3.7%	3.9%

## 生産財事業 3カ年売上推移と今期計画

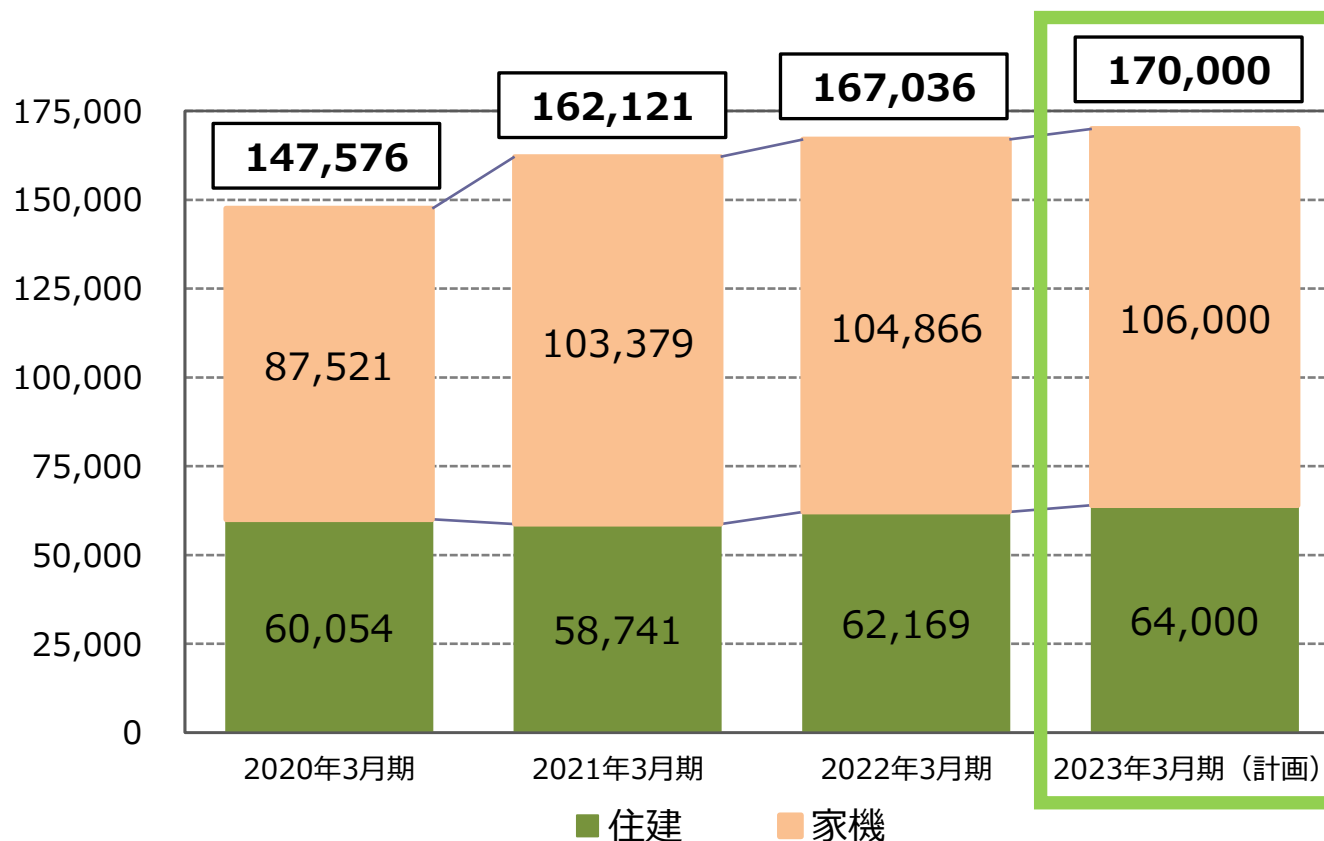


- ✓ 三品業界（食品・薬品・化粧品）や半導体・物流等へのアプローチと社内外のエンジニアリング・ネットワークを強化し、顧客目線の専門性の高い提案を加速
- ✓ 自動車産業等における脱炭素化に向けた、新たな技術・サービスの取り込み
- ✓ 主力ユーザー層である中小企業への政府の各種支援策を踏まえたソリューション提案活動の強化

※当社は、当社グループの業績管理区分の見直しに伴い、従来「その他」に区分しておりました大垣機工株式会社を、2023年3月期第1四半期連結会計期間より「生産財関連事業」に含めておりますが、上記の2022年3月期以前の業績につきましては、変更前の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

(単位：百万円)		売上高計画	前年対比率	営業利益計画	前年対比率	営業利益率
住建事業部	通期	64,000	2.9%	2,300	2.2%	3.6%
家庭機器事業部	通期	106,000	1.1%	5,800	0.0%	5.5%

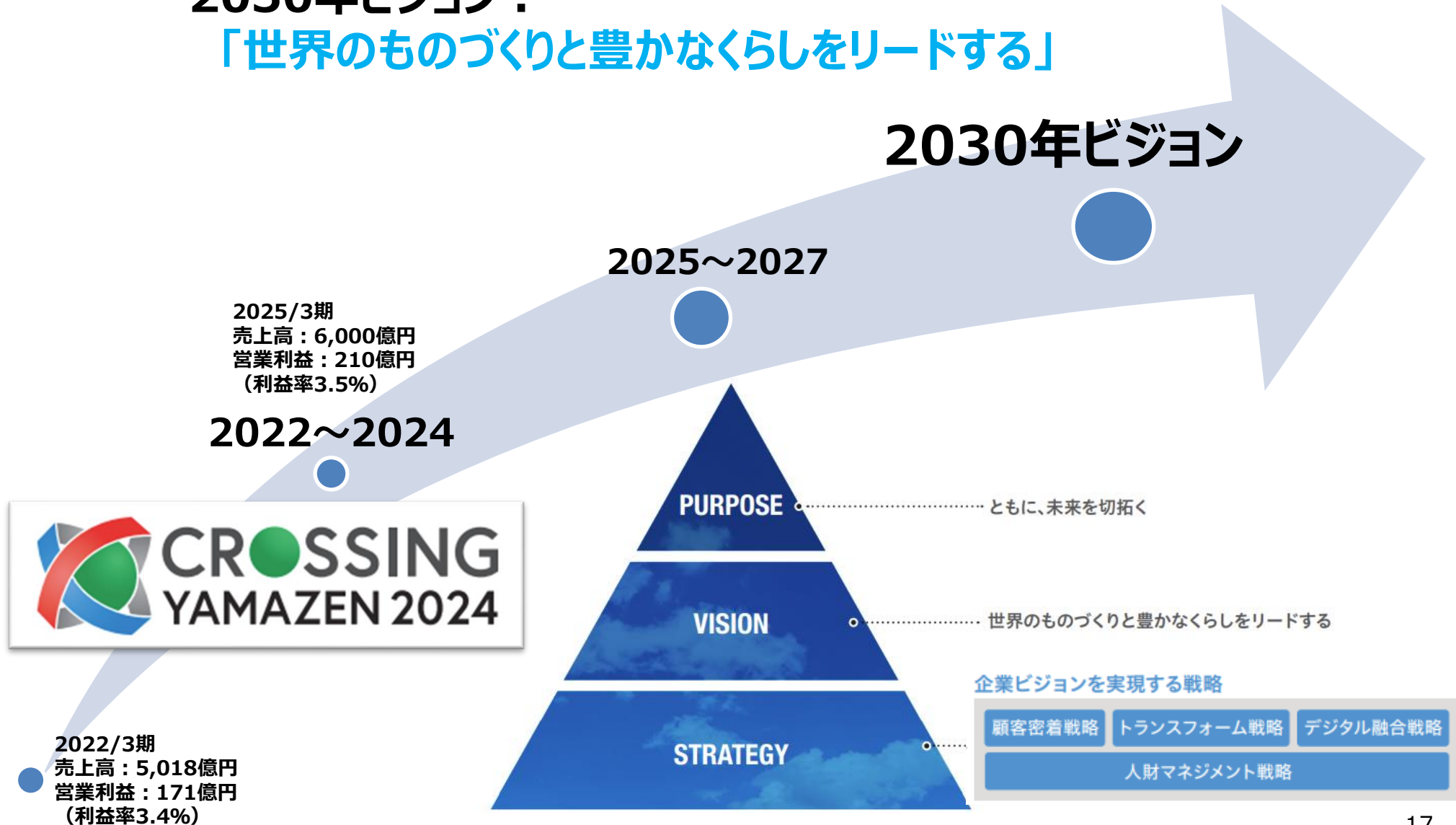
### 消費財事業 3カ年売上推移と今期計画



- 住建事業部
  - ✓ 空調や水廻り機器等の高付加価値商品の提案営業の継続
  - ✓ 脱炭素化に対応した新エネルギー機器の拡販（太陽光、蓄電池等）
  - ✓ 非住宅分野における設備改修案件の受注・施工管理体制の強化
- 家庭機器事業部
  - ✓ 消費者ニーズを捉えた新商品開発と自社ブランドの浸透強化
  - ✓ ECサイト（山善ビズコム）の拡充



## 2030年ビジョン： 「世界のものづくりと豊かなくらしをリードする」





～全社レベルでの収益性向上基盤の構築～

**価値をCROSSINGさせることによって生まれる、  
新しい価値を求めて。**

(単位：百万円)	2022年3月期 (第76期実績)	2023年3月期 (初年度計画)	2025年3月期 (最終年度計画)
売上高	501,872	530,000	600,000
営業利益	17,133	16,000	21,000
営業利益率	3.4%	3.0%	3.5%
経常利益	17,093	16,000	21,000
当期純利益	12,023	11,000	14,000

指標 (単位：百万円)	2022年3月期 (第76期実績)	2023年3月期 (初年度計画)	2025年3月期 (最終年度計画)
自己資本利益率 (ROE)	10.9%	9.0%	10.0%
基礎的営業 キャッシュ・フロー	12,052※	14,000	18,000
自己資本比率	39.9%	40～45%	

※ 5月19日の公表数値「13,601百万円」を、7月4日に「12,052百万円」と修正

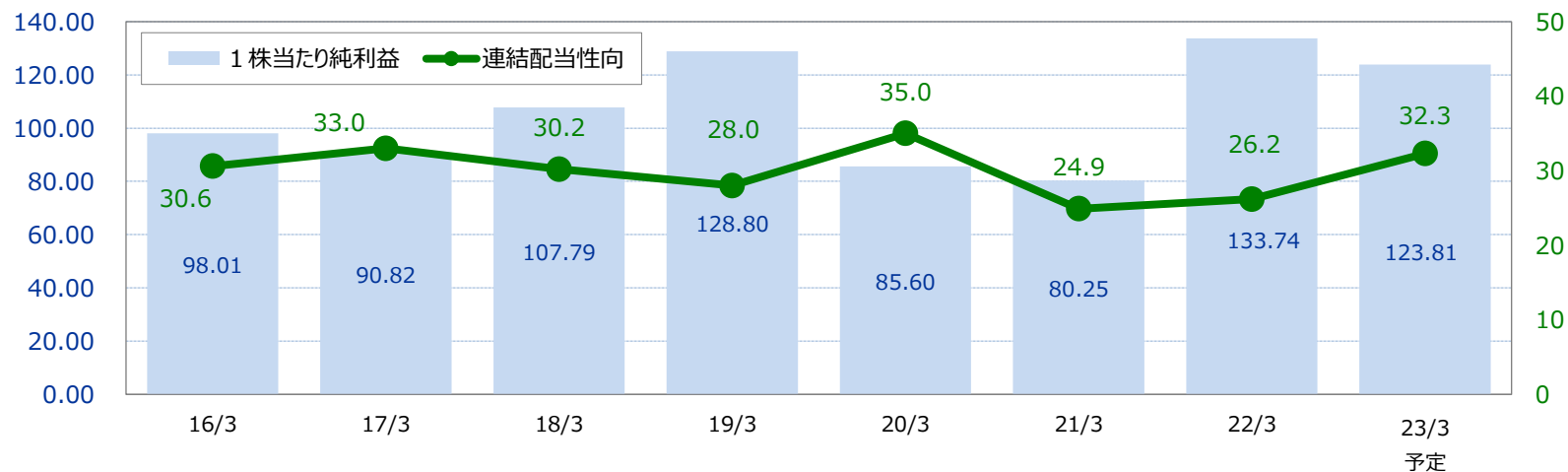
# AGENDA

I. 2023年3月期（第3四半期）決算概要

II. 2023年3月期（通期）業績見通し、中期経営計画

**III. 株主還元**

- 2022年3月期：年間配当35円/株。59.99億円の自社株買いを実施。
- 2023年3月期：中間・期末配当をそれぞれ20円とし、年間配当40円/株を予定。（過去最高の配当額となる見込み）



		'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3 (予)	直近3カ年合計 '21/3~'23/3 計画
配当金額 (円)	中間	*13.5	13.0	15.0	16.0	10.0	10.0	20.0	40.0
	期末	*16.5	*19.5	*21.0	14.0	10.0	*25.0	20.0	55.0
	年間	*30.0	*32.5	*36.0	30.0	20.0	35.0	40.0	95.0
配当性向 (%)		33.0	30.2	28.0	35.0	24.9	26.2	32.3	28.3
年間配当金 (百万円)		2,813	3,074	3,405	2,837	1,891	3,115	3,560	8,566
自己株式取得金額 (百万円)	-	-	733	-	-	-	5,999	-	5,999

\*は特別配当、記念配当を含む

ともに、未来を切拓く



【将来情報に関するご注意】

「この資料には、当社の計画及び業績見通し等が含まれております。将来の計画や予想数値などは、現状の入手可能な情報により、計画・予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画等とは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。なお、金額は特に注記が無い場合は百万円未満切捨てにて表示しております。」